



海のたより



目次	行事予定
表紙 5月チャンピオンシップレース	6月19日 MCCカップレース (早朝)
P 2 ランナー、バイキング優勝	6月26日 スモールクルーザーレース
P 3,4 各艇コメント、成績表	7月16-17日 MCC三河湾周遊レース
P 5 エリカカップ	7月24日 海の日体験乗船、ラグナマリーナ
P 6 クラス優勝、Sウェーブ、ホープ	7月24日 スモールクルーザーレース
P 7 お知らせ、海陽ハーバー所長異動	
P 8, 9 ゴールデンウィーククルージング記	P10 東日本大震災現地ボランティア報告

MCCチャンピオンシップレース優勝ランナー

ランナー 南原

いつもよりも早起きして碧南経由で新人さんに乗せてからハーバーに。さすがにちょっと眠い。風は・・・予想外の東風、今日は風が読めないかなあ。

さて、第1レースは295°、0.7M、あら、気が付けば西風になったみたい(笑)ラインを流すとどうもアウターサイドが高いようだ。合同レースは速い船に捕まるとあまりいい事が無いので、艇団は避けたい。そう思ってラインの中ほどで出たのが良かった。上の艇を上って蹴散らして、下もフリーウオーターが十分。しばらくフレッシュウインドを走っているとホーネットとミーティングするほどなのでかなり良い。

上マークを回航してもいつも周りにいるJ24と絡まなくて快適(笑)。ジャイブもきれいに決まって、次は下マーク。スピンドウンはギリギリの間合い、ジブが上がらなかったダンシングビーンズをパス。これは行けるかも！2上のレグも風の落ちる前に走りきってフィニッシュ。好成績が期待できそうだ。

第2レースは235°、1M。コミッティは実際の風よりかなり右に変更したようだ。この後235°が期待できるとある程度確信を持って打ち変えたのかと勝手に深読み。

スタートは下艇団の一番下。アウター側には監視艇が居ないし、すぐ上のスーパーウエーブの影ならリコールが読まれないと高をくくってどんどん上す。結果的に何艇かを押し出したみたいでリコール有りスタート。ま、うちではない(笑)

スタート後はすぐに風を取られてしまったので右にタック。これは右に振れたしうまくいった。ただスターボロングのコースなのですぐにタックして左に。235°にそれなりの根拠があるからそのうち左に戻ると邪推してそのまま左端へ行ったのがまずかった。風はどんどん右にシフトし、上位集団と離されてしまった。

2レグ3レグは風が落ちて我慢の走り。新しいセールは微風でも快調な走りなのが嬉しい。2上マーク付近では潮の影響が強く、ラグーナの2艇とあんなことやこんなことをして戯れた後、やっとのことで最後の下りレグに。風も少しは回復してそのまま短縮フィニッシュへ流し込み。最後に少しは挽回したかなという感じでした。

そして結果は1-4で総合1位が取れちゃいました。昨年に続き合同レースは験がいい。早くもチャンピオンシップ連覇の皮算用をする人まで。ま、北河さんですが(笑)

今回、初乗艇の新人、坂本君も物怖じせず動いてくれましたし、このメンバーで乗りだして4年目となって、回航やジャイブもスムーズになったみたいです。でもまだまだ納得はしていませんので、もっともっと上を目指していきたいと思つてます。(^^)!



スモールボートはバイキングが優勝

バイキング 本間

参加数約30艇ではあったが、MCCから参加したスモールボートは”はやぶさ”と”バイキング”の2艇のみ。わがバイキングは4名乗艇で、張り切ってスタート海面を目指した。

3角コースの第1レースは1分ほど遅れてスタートラインを切ったが、大型艇の風の陰になり、すぐポートタックにした。そのうちによい上り角度のポートタック艇にどんどん引き離されていった。下りもジェノアで走り、ファーストホーム艇より15分遅れてフィニッシュ。

第2レース、ソーセージコースは短縮で4レグのみとなった。スタートライン前でタックし、2分以上遅れてスタート。コースの延長上かなり遠くにあった赤いゴムボートを上マークと取り違えて、ポートタックで気持ちよく走り、他艇を見て気付いた時には大幅にオーバーセール。下りはこの日初めてスピンを揚げて何とか走りきった。少し前を走っていた”はやぶさ”はうまくスピンを走り出したと思ったら、横を通過していた本部艇にリタイアを告げていた。この時点でMCCのスモールボートで走っているのは1艇のみとなりフィニッシュさえすれば1位確保。2上はコースをあまり外さずにタックを繰り返して走り、艇群よりかなり遅れて上マークを廻った。下りはスピンの提灯になり、なかなかスピードに乗れなかった。スピンをコントロールできるようになって、コースの2/3を走ったところで、アフターガイに力が掛かっているのに気付かず、出しすぎてフィニッシュラインまでスピンを横に引っ張って走り、よたよたとゴールした。

昨年はジブ、メインとも寄る年波に勝てず裂けてしまい、メインのみ新しくしたが、ジブは古いのを引っ張り出してきて使っているので、これを揚げた途端に気分はやや下向きになった。去年以来、どのレースも中位以下で、今回の1艇中1位はどんなレースにも参加することが大切という見本であった。

MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号

5月15日 MCC、ラグーナ合同レース 各艇コメント



ランナー

- 1 レース目はラインの真ん中くらいで空いたところからスタート。おかげでずっといい風で走れました。
- 2 レース目はスターターから見えないことをいいことにアウト寄りでどんどん上らせてスタート。OCSになった上の艇にはゴメンナサイ。風速が落ちて疲れましたが頑張りました。

ダンシング・ビーンズ

今日は5人の参加。1レース目は風がまあまああって人手が足りないなと思いつつスタート。まあまあのスタートで1上はホーネットに続き回航。サイドでのジャイブからがいけなかった。ジブシートが変なところを通って修正したつもりが下マーク直前でジブアップしようとしたところ、まだジブシートが変な状態だということに気付く。結局ジブが上げられずに回航し、何とかジブを上げた頃には大きく他艇に水をあけられ、冴えない結果となりました。

2レース目はスタートを出遅れ、すぐにタックを返したのが正解だったようで1上は上位で回航でき、ジャイブもバッチリで決まり、ヨッシャ。1下はやっぱり人手不足なのかジブはちゃんと上がったもののマーク回航後のジブトリマーがおらず、上りをちょっとロス。2上はホーネット、アルミスと絡みながら走り、先行し回航することができた。その後、ジャイブを繰り返し失敗もなくやれたことで先行しフィニッシュができました。ということで2レース目はまあまあ。今日は風も良く楽しいレースができました。皆さん、お疲れさまでした。



ホーネット

- 1、2レースとも手堅く3位で総合も3位。1レース目はスタートでバウが出ず苦しい展開に、2レース目はスタート後、左先行と思って延ばすと右に行った艇にやられてしまったり・・・。風の振れ、強弱、潮の影響もあってリコール艇も・・・。いろんなことがあって勝つのは難しいけど、レースを楽しむことができました。

セレスティーン

航跡を見られるということは勉強になり大変ありがたいです。

1本目はいつものごとくでしたが、2本目は久しぶりに良いレースができました。

と思っていましたが、航跡を見るとかなり無駄な走りをするのが良く分かりました。

今週のエリカには、この反省を生かして頑張ります。



ベベ

これと言ったミスもなく2レースとも走りましたがタクティクスの悪さが成績になりました。風のムラが走りのムラに。弱くなるととにかく上れない。

ルートリス

マスト交換し、初めてのレースとなりましたがメンバー三人とゲスト一人と少なく、最初からスピンなしでのレースと決め、完走を目標として望みました。

第1レースのライアングルでは、スタートライン下側での安全スタート。スピンを上げずとも他艇と遜色ない走りでした。

第2レースのソーセージでは、準備が遅れ、5分前にジブを上げ、スタートラインへ。

運良く本部艇付近にいたので結果オーライの好スタートでした。スタート直後ポートヘタックし、上マークを目指す。第1レグはなかなかの走りで、コース取りが良かったのかホーネットさんにかかなりの差を付け回航、しかし、弱風+スピンなしの為、艇速が出ず、すぐにホーネットさんに追い抜かれました。(なんでスピンを上げないとホーネットさんにいわれましたが、上げられなかったのです) レース自体は4人としては十分な出来で、マスト交換前に比べ上り角度があがり、メインのシワもなくなり、艇速が上がるのを嬉しく実感できました。



と、レース終了まではよかったです、アクシデントがクレーンバースの進入の時に起こりました。停船させようと強くバックギアのレバーをいれた時、レバーが戻らなくなり、そのまま全速でバックをし始めました。港内には、OPとその脇に付き添いのボートがいましたが、それはなんとか回避し皆さんの協力により無事棧橋に着け修理することができました。

と言う訳でMCCのパーティにも参加できず大変失礼をしました。

スーパー・ウェーブ

第1レースはアビームでのスピン取り込みに手間取った以外は良かったが、第2レースでは、スタートで2秒、ラインより前に出ていたことに気付かず、また沖を走って無風に捕まったのが失敗だった。



アルミス

第1レース 下からスタート、左海面に向かう。上マークまで良い位置でいけたが、マーク回航に手間取り遅れる。人員不足でスピンが上がらず。第2レース 下スタート。リコールしてしまった。最高のスタートができたと思ったが・・・。(泣)

バイキング

急遽カメラの田中さんが来てくれることになりヘルムを取って頂いた。第2レース、風上マークを間違えてしまい、特大オーバーセイルをしでかした。(MCC史上最大では?) ハヤブサさんがリタイヤされたので棚からボタ餅のスマール優勝の荣誉に輝いた。



はやぶさ

レースに参加できるレベルではありませんが、勇気を出して出場しました。第1レース フィニッシュ前、風が無くなりタイムオーバーでDNF。第2レースでもレースについて行けません。リタイヤしてスピンの練習に変更。レースの雰囲気を楽しみました。ありがとうございました。

名称		5月合同レース 第1レース					5月合同レース 第2レース						
コース		S-上-サイド-下-F					S-上-下-上-下-F						
距離		2.0 マイル					5.0 マイル						
風速		5m 以下					5m 以下						
スタート		10:30:00					12:00:00						
セール	艇名	着	所要時間	修正時間	順	点	着	所要時間	修正時間	順	点	計	順
3687	Runner II	4	0:31:43	0:29:30	1	20.25	5	1:38:06	1:31:14	4	17	37.25	1
5933	Dancing Beens 3	5	0:31:54	0:32:23	5	16	1	1:24:46	1:26:02	1	20.25	36.25	2
5791	Hornet	2	0:30:39	0:31:08	3	18	3	1:25:17	1:26:39	3	18	36	3
3173	C'elestine	6	0:33:54	0:34:29	7	14	2	1:24:48	1:26:14	2	19	33	4
4825	BeBe	8	0:37:15	0:34:03	6	15	6	1:44:43	1:35:43	6	15	30	5
4932	Lutris	7	0:35:51	0:35:34	8	13	4	1:35:36	1:34:50	5	16	29	6
5550	Super Wave 6	1	0:30:03	0:29:45	2	19	PMS	PMS	PMS	PMS	10	29	7
4774	Armis 5	3	0:31:09	0:31:31	4	17	PMS	PMS	PMS	PMS	10	27	8
6499	Viking	1	0:40:04	0:35:28	1	10.25	1	1:47:04	1:34:45	1	10.25	21	1
2	HAYABUSA	DNF	DNF	DNF	DNF	4	DNF	DNF	DNF	DNF	4	8	2

第25回 エリカカップヨットレース

74艇の参加、A-F 6クラスで争われました。

風待ち2時間、その後は雨の中.....

結果はAクラスのパラフレニアンが総合優勝、エリカカップを得ました。

Aクラス優勝 パラフレニアン、

Bクラス優勝 フローレス、4位ホーネット、5位ダンシングビーンズ、
6位アルミス、8位セレスティーンヌ

Cクラス優勝 スーパーウェーブ、3位うらなみ、

4位オデッセイ、5位ルートリス

Dクラス優勝 フォーテ、4位ガメラ Eクラス優勝 バーゴ、

Fクラス優勝 ホープ、BFD ベベ



入院生活とスーパーウェーブの活躍

退院後の全快祝いとエリカCクラス優勝のお祝い

SUPER WAVE・長坂 収

ヨットシーズンに入ったばかりの4月中旬に右目の異常を感じ、地元の眼科で検診したところ、網膜剥離と診断され4月23日に豊明市にある藤田保健衛生病院に入院しました。この網膜剥離という目の病気なのですが僕は簡単な手術、治療で退院でき退院後は普通の生活に戻れるだろうと言う安易な考えをしたのが大間違いで、とても怖い目の病気でした。

4月28日に手術をし、手術の内容は剥離した網膜をレーザーで焼き付け、接着させ接着面がしっかりとくっつくように眼球の中にガスを注入しました。

手術時間は2時間15分くらいで終わりましたが、ガス注入したガスが常に接着面を安定させるため、ガスが自然に抜けるまでの2週間は常に眼球を下に向けていなくてはならず、この2週間が非常に大変なんです。何が大変かと言うと寝る時は常にうつむせ状態であお向けはもちろん横になって寝ることも厳禁で、起きてる時も顔は常に下向きにして眼球を下に向けていなくてはならず、とにかく下を向いて、下を向いてのナースさんからのご指示なんです。

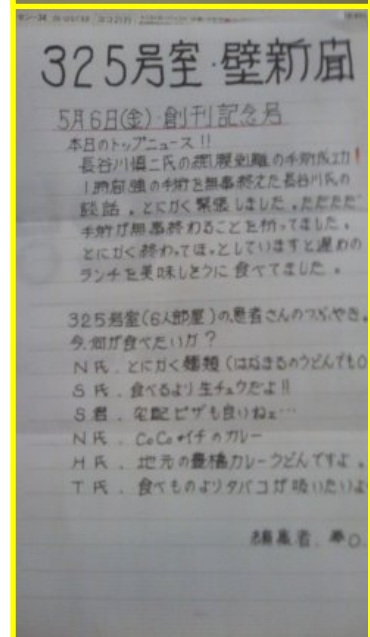
そんな入院生活でとかく病室での生活は暗い雰囲気になりそうなので、僕は何とか明るい入院生活にしようとして、こんなものを作りました。(写真参照)僕は眼科病棟の325号室に入院してまして、一つは325号室のドアに貼ったスローガンです。このスローガンがナースさんや他の入院してる患者さんにも大受けでしたよ。僕が退院が決まった時には、「ナース皆さん、ありがとう」と書いたスローガンも貼りました。

それと、右目が眼帯しているにもかかわらず、左目だけで一生懸命作った「壁新聞」です。(写真参照)結局この壁新聞、創刊号から第4号まで発刊しましたが、これまた同じ325号室の仲間やナースさんはじめ眼科病棟のスタッフの皆さんに大受けで喜んで読んでいただきました。

さらに僕の入院生活を明るくさせてくれたのは、我がスーパーウェーブの活躍でした。5月8日に行われた「三河みとマリーナ」主催のファミリーレースでは、毎年高ハンディキャップに泣かされているスーパーウェーブがぶっちぎりの完全優勝。(オーナーが乗ってないことも大きな理由かも)

それに退院した後なんです、僕が6月いっぱい海に出れなく残念がっている時にエリカカップでのCクラスのクラス優勝と言う活躍でとてもうれしい結果でした。

僕の網膜剥離の全快祝いとエリカカップ・クラス優勝のダブルのお祝い会をチーム・スーパーウェーブで開きたいと思ってます。



第25回エリカカップ Fクラス優勝 ホープ

ホント、久々にクラス優勝できました!! 成績を聞いて盾を手にして、雨に降られ長丁場となったレースの疲れも吹き飛びました。残すは総合優勝のエリカカップの発表・・・さすがに呼ばれませんでした、残念(笑)。

さてレースの方はといえば、風待ちにゼネリコでどんどん時間が経過し、とうとう雨も降り出した中での3回目のスタート。しかしこれがもの見事に大失敗。

風がスタータ側に振れすぎの上に黒色旗。風速も5分のうちにどんどん上がる。さっきまでの微風だった想定で4分前からライン手前で艇を止めようとしたが、こんなに傾いたラインでは止まらない。スタータ側が有利なのはわ

かっていても下側の邪魔な艇に捕まってどんどんアウター側に流される。このままではスタート時間前にアウターを通過して最悪のBFD。最終決断はメインを引き込んで減速（て、どんだけ風向おかしいねん！ちゅう話やわ）して下艇をやり過ぎてジャイブして逃げる。こんな感じで結局大きく出遅れて大型艇の陰に。スタート後のコースもえげつない。ウエザーマークまでずっと大型艇の引き波とブランケット。マーク回航では既にかかなり後方。実はこのときはもう気持ちが萎えてました。ところが西浦マークまで向かう途中でサーフメイドに出くわすと俄然やる気復活。よくみればブーメランもすぐ近く。何だそれほど悪く無いじゃん西浦マークからの帰りは千春と併走しながらのスピランで前のJ24とハイテンションを追いかける。



最後の上りは、シフトの方向が後続艇ほど不利か？そうは思ってもみんなへとへとで、後はとにかくフィニッシュするのみ。期待を胸に海陽に帰港すると、やっと雨が上がった。そして思い出した。昼ご飯がまだだった。翌日、総合成績を見ると上位はA・Bクラスばかり。確かにあのスタートライン、ウエザーマークの位置関係では小型艇は抜け出せんわな。それに航跡を見ても最終レグは風向きの変化で後続艇不利になつてる。ならばと成績表をエクセルに落として、修正時間とTRSの相関を計算させてみた。出てきた相関係数は0.38。これは弱いながらもTRS値が小さいほうが修正時間が小さいという相関関係を示している。何だ、データ上でもやっぱり大型艇有利だったのだ。そう思うとレーティングの低いホープ、ハイテンション、ブーメラン、サーフメイドの成績はなかなかじゃないかと、納得。そして思った、また来年もがんばろう。

海陽ヨットハーバー所長異動

6月1日新所長が着任しました。

新所長は糟谷益男（かすやますお）氏、西尾市吉良町から通勤します。

県の教育委員会関係職場を退職後、三河道路サービス、小坂井バイパスを経て着任。

『海に関しては、昔は吉良の海岸で遊んだことがある程度、最近では海から遠ざかっています』

『ヨットはもとより海の仕事は初めて、皆さんよろしくお願ひします』

着任早々、台風・大雨の洗礼を受け、海の汚れごみの多さにびっくりしたそうです。

前所長の鳥居氏は東三事務所へ異動されました。



東日本大震災、JSAFフラッグキャンペーン、ご協力ありがとうございます。

協力の依頼を案内したところ、早速多数のご協力いただきました。
支援活動はまだまだ続きます。1口、5000円です。
キャンペーン協力は中村まで申し込みください。



最終ページに東日本大震災現地ボランティア参加レポートを掲載。

これは名古屋のボランティア団体、レスキューストックヤード（RSY）が日本財団の援助を得、宮城県の仙台市、石巻市に挟まれた半島状の七ヶ浜町に活動拠点を設け、20名を1つの陣とする4泊5日（個人負担7000円ほか）のボランティアバスを運行しています。このボランティアバスに参加した報告です。

支援活動に参加してみたい方、RSYの活動は下記ホームページを見てください。皆さんの支援を待っています。 <http://rsy-info.jimdo.com/>
RSYでは最低1年はボランティアバス運行による20名の人員を継続的に確保し七ヶ浜町の支援を行うそうです。



BEBE号に乗って、三河湾から海路鳥羽へ

(悠々自適ブログから)



友人からの電話。「ねえねえ。ヨットに乗らない？」
「うん。良いけれど？」わかったー。詳細は後ほど。
「一泊だからねー下着だけでいいんじゃないかな〜」
「何処行くの？」「しらんだよー」
この会話で、ヨットでのお出掛けが決まりました。「まじでー？」

乗るは「BeBe号」話には聞いていたのですが、乗るなんて初めてな訳で。総勢10名。三河湾を出るだけで、一時間以上。人間ってちっぽけだな〜と、思いながら海を見て。途中、火力発電所もあって、浜岡原発動かすのなら、ここ使ってほしい。と、思ったり。原発は、基本反対派です。今再稼働なんて話しが出るのが理解に苦しむ！！と、ここまで書いて、浜岡原発運転停止の一報。事故は、二度はあってはならないのです。



海上の目印。伊良湖水道です(多分・・・)メモ持参で行くべきだったわ。
聞いていた瞬間から忘れる・・・行きは曇天・・・寒かったわ〜。
ここいらで初めて、行き先が分かりましたが。どうやら「鳥羽」6時間の船旅？
方向が分かりません。見渡す限りの水平線。
あるのは「羅針盤」うーん！パイレーツ・オブ・カリビアンだわ。
もちろん、ナビもありましたが。なんだかワクワク。ゆらりゆられて〜。
お菓子食べまくりバリバリ。梅酒をちびちび。
ホストの方が心配してたよー。と、後から聞きましたが(笑)
初心者、船酔いするんだそうで。私大丈夫みたい(船酔いの薬飲んでました)



民宿しらはま。50歳オーバーのクルーの方々です。女性陣は加工。
飲んで、笑って、楽しい時間だったなー。
このおじさま方、海の上ではそれはそれは・・・かっこいいのです。
すてきななーと、見惚れちゃいます。
ここでは、飲んだくれのおっさん(失礼ですよ
ね)なんです(笑)
翌日、一眼片手に、早起きしてご来光を写しに。
釣り人がいい感じなんです。

本当に静かな海。流木を拾ったりの一時間の散歩。

二日目。風もあってオールセーリングでの航海。ヨットの醍醐味です。
聞こえるのは、風の音、波の音。海って偉大だと改めて思った。
伊良湖水道の前後で、何と！！スナメリが送ってくれました！！大感激！！
もちろん！見とれて画像なし・・・残念！！
スナメリの、声が聞こえるってー。海に慣れている人の言葉。
カメラを向けていたのですが、一瞬だった。4頭。イルカより小さい感じ。
目が〜〜〜ど！かわいい！！！！

風の音、海の波の音、潮騒の香り。過ごした時間は、正に生きている時間。

楽しかったです。クルーの皆様。ありがとうございました。



MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号

五ヶ所湾合同レース後の回航クルージング

HORNET 多田

今年の五ヶ所湾レースは、不本意な成績に終わってしまいましたが、まあ～～あ運が悪かったって割り切って、回航クルージングを楽しんできちゃいました。

夜明けとともに起床して、朝シャワー（風呂ではありません！！）して、石原シェフの朝食を美味しく頂き、6時半に出航！ チョット遅れて出航したアルミスと合流し2艇でランデブー、途中、五ヶ所湾で獲れた牡蠣を蒸して秋までの食い溜め～～＼(^o^)/

天候・風共に絶好で、安乗付近でMCCのクルージングがどうなってるかTELしてみましたが、誰にもつながりませ——ん。TELなんかにかまってる暇が無かったんでしょうか???

昼食は、石鏡漁港に入港し、港のまん中の食堂へ・・・・・・・・オットトト・・・・人が並んでる～～こんなところで、何で並ばなきゃいけないわけ?? 地元の情報通（M氏）談「有名な店で、ふだんでも混んでる。」とのこと。

普通の食堂ですが、出てくる料理は豪快そのもの、刺身の盛り合わせ・煮魚・焼き魚・大漁井・〇〇井・・・・人数分それぞれ違ったものをオーダーし、回し皿し各種味わい、たらふく食べました～～～w(^o^)w。



（石鏡漁港）



（豪快な刺身定食）



（大漁井）

石鏡を出航して一路、今晚のメインイベント「佐久島に有るK氏の別邸(本宅?)」へ直行！K氏は、我々のために甲イカとカレイを海から直接差し入れしてくれました。イカ墨と格闘して刺身に、カレイは頭を落として皮を剥き煮付けの準備をした後は、一流シェフの出番です。

調理中、順番にお先に風呂を頂戴して、料理も完成！！いざ宴会の始まり！！新鮮な魚介を存分に堪能し、人生経験豊富なK氏の楽しい話を聞き、「アッ！」と言う間に夜もふけ就寝・・・・(_)Zzz

翌日、K氏は早朝から漁に、我々は朝食後に宿泊させて頂いたお礼に、草むしりをしてから、港へ———昼食までのひと時を各自思い思いに過ごして、昼食へゴーアレレ??なんか今迄の佐久島の雰囲気とチョット違う～～～。若い女の子がたむろして歩いてる～～～!!??

何でこんなに、変っちゃったわけ???

後で調べたら、某雑誌の“ゴールデンウィークに行く日帰りドライブ”って記事のトップに佐久島が出てました・・・・・・なるほど、恐るべし雑誌の威力(T_T)

（・・・・と言っても、自分はゴールデンウィークに行ったのは、初めてだったんですが・・・・）

佐久島を出航後は、上天気のもと見慣れた景色を見ながら無事帰港しました。



東日本大震災 現地ボランティアに初参加して

アルミス 杉浦

先月5月中旬、宮城県七ヶ浜町に災害ボランティアとして参加し、雑感ではありますが報告いたします。

名古屋の災害ボランティアNPOを運営するレスキューストックヤード（以降RSY）を通して宮城県七ヶ浜町で4泊5日（実質中3日）の救援活動を行ってきました。

このNPOに参加するきっかけは、数年前に私が受講した東海地震に備える防災講習会で団体代表の栗田氏が講師として招かれており、活動内容が頭の片隅に残っていたことで、震災2日後の13日(日)に何か手伝える事はと事務局へ出向いたのが始まりでした。私が実質役に立てたのは4月初めRSYの先遣隊が現地入りする際、車の燃料確保に頭を悩ませており、ガソリン携行缶の借用を中村さんに相談し、当日に20L容器9缶を届けた事でした。中村さんからの呼びかけに即応して頂いた皆様、お借りしたガソリン携行缶は現地で活躍したと聞いています。RSYに代りお礼申し上げます。

私のような素人ボランティアが各地現地入り可能となったのはボランティアコーディネーターが受入体制を整えた4月末GW以降で、数多くの方々が現地へ行かれたのは報道等でご存知の通りです。

このRSYは、災害支援の空白地帯を作らない・長期的な視野で支援するとの方針から他の団体と調整し、宮城県の仙台市、石巻市に挟まれた半島状の七ヶ浜町に活動拠点を設け、20名を1つの陣とする4泊5日（個人負担7000円のみ）のボランティアバスを運行しています。（知名度のある市は行政の支援や自発的なボランティアが集中しやすい為）

七ヶ浜町は松島湾に隣接し、地形的に三谷・西浦・形原・寺部・宮崎の海岸部を集めたような風光明媚なところで宮城県外洋帆走協会の小浜泊地もこの七ヶ浜町にあり、津波による被害が甚大です。（泊地の被災状況についてはKAZ I誌6月号P24、25に記載されています。）

私が参加したのは震災から2ヶ月が経った5月中旬でした。活動内容は津波にあった住宅敷地・床下の泥出しなど肉体労働と、足湯・炊出し・喫茶・キッズルームなど体と心のケアを行う作業がありました。一般的に災害ボランティアはいわゆる瓦礫の撤去など肉体労働が主と思われるがちですが、元は個人の敷地であり所有されるご自宅であり、他人が勝手に作業できるわけではありません。先ず、家屋調査士などが建物の安全性を確認し、次に建物所有者がボランティアに作業を依頼して、そこで初めて清掃、片付けのお手伝いが可能となります。しかし、被災された方々は疲労の蓄積や放心状態にあり、また東北特有の遠慮深さなどが重なりなかなか片付けの依頼をされないそうです。RSYは阪神・淡路大震災以降16年間の経験を踏まえ心のケアに重点を置き、足湯・喫茶などで信頼関係を築き、そこから被災された方々の様々な要望（片付け、泥出し、仮設住宅への引越し手伝い、行政への助言）を聞き取り、ボランティアセンターへ伝えるとともにボランティアとしてお手伝いをしています。

私は実質活動日3日間を喫茶、足湯、家屋床下の泥出しを一日づつ行い、日々変化する被災された方々のニーズに対応する一連の流れを経験しました。喫茶では津波に襲われた方の「津波はバリバリと音を立てて襲ってきた」と生々しい体験談を聞き、足湯では足をお湯に漬け手の平や腕を擦ることで血行を良くしそれと同時に会話することで抑えていた気持ちを吐き出しストレス発散とお困り事を聞きだし、床下の泥出しでは建物再建の見通しがついたことで震災後初めて奥さんが笑顔を見せられ、感謝されるなど、現地でなければわからない貴重な体験が数多くありました。そして帰る際には、現地で自分がしてきた事以上に、自分が得たものの大きさに気付かされます。

このボランティア活動はヨット同士のホスピタリティやシーマンシップに通じる精神があるように感じます。被災地が日常を取り戻すには年単位の期間と継続的な支援が必要になります。このMCC便りを読まれた方の中には支援活動のお気持ちがありながら窓口が分からなかった方も見えると思います。RSYは最低1年はボランティアバス運行による20名の人員を継続的に確保し七ヶ浜町の支援を行うそうです。ご参考まで下記にホームページアドレスを記載しておきます。私の体験が皆様の参考になれば幸いです。



返却された燃料缶と記念撮影
5.22海陽ハーバーにて

特定非営利活動（NPO）法人 レスキューストックヤード
URL <http://www.rsy-nagoya.com/rsy/>

MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号